

学校自己評価表(年間計画)

Table with columns: 学校運営計画, 学校運営方針, 教育目標, 昨年度の成果と課題, 重点目標, 具体的目標, 具体的方策, 最終評価, 評価者, 評価方法, 評価基準値(目標数値等), 数値等(実績値). The table details school activities, goals, and evaluation results across various categories like education, student activities, and facility management.

| | | | | | | |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 1 学年 | ①基本的生活習慣の確立を図る | ○SHRに遅刻をせずに、気持ちの良い一日の始まりを迎えさせる。5分前行動を心掛ける。 | 数値 | 年度末数値 | A: SHR時の出席率98%以上 B: SHR時の出席率98%未満～96%以上 C: SHR時の出席率96%未満 | |
| | | ○登下校時及び授業の開始終了の挨拶および廊下で挨拶をさせる。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | |
| | | ○高校生らしい正しい制服の着用(頭髪等も含む)をさせる。バッジ・ネクタイの着用を励行させる。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | |
| ②学習の機会の確保及び学力の向上を図る | ○教室の私物の整理整頓をするとともに、ごみの分別を正しく行わせる。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | | |
| | ○朝学習を実施し、学習内容の確認をする。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | | |
| | ○授業では私語・居眠りをせず、積極的に授業に参加する。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | | |
| ③家庭と学校との連携を図り、生徒理解を図る | ○家庭での提出課題にきちんと取り組む。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | | |
| | ○学年だよりを発行し、情報の提供を図る。 | 数値 | 年度末数値 | A: 10回以上 B: 8回～5回以上 C: 4回以下 | | |
| | ○保護者面談を年2回以上実施する。 | 保護者 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | | |
| 2 学年 | ①基本的生活習慣の確立と社会性の育成を図る | ○SHRに遅刻をせずに、気持ちの良い一日の始まりを迎えさせる。 | 数値 | 年度末数値 | A: 出席率99%以上 B: 出席率98%以上 C: 出席率98%未満 | |
| | | ○登下校時及び授業の開始終了の挨拶はもちろん、廊下等で気持ちよい挨拶をさせる。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | |
| | | ○新入生らしい、正しい制服の着用(頭髪等も含め髪だし込み)をさせる。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | |
| | ②学習時間の確保と学力の向上を図る | ○教室内及びロッカーの私物の整理整頓とゴミの分別を正しく行わせる。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | |
| | | ○朝学習を実施し、学習習慣を身につけ、学習内容の確認をさせる。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | |
| | | ○授業では私語・居眠りをせず、積極的に授業に参加させる。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | |
| | ③早期の進路意識の啓発と対策を図る | ○家庭での提出課題にきちんと取り組ませる。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | |
| | | ○インターンシップを実施し、職業意識の啓発と職業観を育成する。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満 | |
| | | ○LHRなどで、「進路の手引き」を利用し、進路選択に役立てる。 | 数値 | 年度末数値 | A: 民間就職希望者の参加率90%以上 B: 参加率80%以上 C: 参加率80%未満 | |
| | | ○模擬試験や資格検定試験等には積極的にチャレンジさせる。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満 | |
| 3 学年 | ①新入生の自覚を持ち、最高学年として他学年の模範となるような行動をとれる高校生生活を送らせる | ○学校・生徒会行事に積極的に参加させ、人間関係の育成に努める。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満 | |
| | | ○部活動等を通じて、精神的・肉体的な成長を図る。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満 | |
| | | ○個別面談を年2回以上実施する。 | 数値 | 年度末数値 | A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし | |
| | ②学習の機会と時間の確保及び学力の向上を図る | ○保護者面談を年2回以上実施する。 | 数値 | 年度末数値 | A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし | |
| | | ○O L H Rなどで「進路の手引き」を利用し、進路決定に役立てる。 | 数値 | 年度末数値 | A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし | |
| | | ○社会人としての準備のため、礼儀・言葉遣いを正しく行う。 | 数値 | 年度末数値 | A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし | |
| | ③進路指導部と連携し、生徒の進路実現を図る | ○保護者面談を年2回以上実施する。 | 数値 | 年度末数値 | A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし | |
| | | ○進路決定率は、年度内に100%の達成を目指す。 | 数値 | 年度末数値 | A: 100% B: 95%以上 C: 95%未満 | |
| | | ○進路実現に検定が必要となることを再認識させ、検定取得の意欲を持たせる。 | 数値 | 年度末数値 | A: 8回以上 B: 5回以上 C: 5回未満 | |
| | ④家庭と学校との連携・連携を図るとともに、生徒理解を図る | ○学年たよりを年8回以上発行し、情報の提供を図る。 | 生徒 | アンケート | A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満 | |
| ○保護者面談を年2回以上実施する。 | | 数値 | 年度末数値 | A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし | | |
| ○個別面談を年2回以上実施する。 | | 数値 | 年度末数値 | A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし | | |
| 商業 連 達 学 科 | 授業参観をするなどして授業改善を行い、生徒がビジネスに興味・関心を示すよう教材研究を行う。 | ○授業では私語・居眠りをせず集中し、積極的に授業に参加させる。 | 教員 | アンケート | A: 概ねよくあてはまるのが70%以上、B概ねよく当てはまるのが60%以上、C概ねよくあてはまるのが60%未満 | |
| | | ○家庭での提出課題にきちんと取り組む。 | 教員 | アンケート | A: 概ねよくあてはまるのが70%以上、B概ねよく当てはまるのが60%以上、C概ねよくあてはまるのが60%未満 | |
| | | ○O L H Rなどで「進路の手引き」を利用し、進路決定に役立てる。 | 教員 | アンケート | A: 概ねよくあてはまるのが70%以上、B概ねよく当てはまるのが60%以上、C概ねよくあてはまるのが60%未満 | |
| | キャリア教育を意図した授業を実施する | ○社会人としての準備のため、礼儀・言葉遣いを正しく行う。 | 教員 | アンケート | A: 概ねよくあてはまるのが70%以上、B概ねよく当てはまるのが60%以上、C概ねよくあてはまるのが60%未満 | |
| | | ○進路決定率は、年度内に100%の達成を目指す。 | 教員 | アンケート | A: 概ねよくあてはまるのが70%以上、B概ねよく当てはまるのが60%以上、C概ねよくあてはまるのが60%未満 | |
| | | ○進路実現に検定が必要となることを再認識させ、検定取得の意欲を持たせる。 | 教員 | アンケート | A: 概ねよくあてはまるのが70%以上、B概ねよく当てはまるのが60%以上、C概ねよくあてはまるのが60%未満 | |
| | コンテストや競技大会に積極的に参加し、成果を上げる。また将来、産業経済界や国際社会で活躍できるスペシャリストや地域の担い手を育成する。 | ○個人添削課題や週末課題を出し学習習慣の定着を図る。 | 教員 | アンケート | A: 概ねよくあてはまるのが70%以上、B概ねよく当てはまるのが60%以上、C概ねよくあてはまるのが60%未満 | |
| | | ○保護者面談を年2回以上実施する。 | 教員 | アンケート | A: 概ねよくあてはまるのが70%以上、B概ねよく当てはまるのが60%以上、C概ねよくあてはまるのが60%未満 | |
| | | ○個別面談を年2回以上実施する。 | 教員 | アンケート | A: 概ねよくあてはまるのが70%以上、B概ねよく当てはまるのが60%以上、C概ねよくあてはまるのが60%未満 | |
| | | ○進路決定率は、年度内に100%の達成を目指す。 | 教員 | アンケート | A: 概ねよくあてはまるのが70%以上、B概ねよく当てはまるのが60%以上、C概ねよくあてはまるのが60%未満 | |
| 国際 教 養 科 | ①進学希望の達成 | ○海外語学研修、ALTの活用などを通して異文化に対する興味・関心を高めさせる。 | 生徒 | アンケート | 「国際教養科は、生徒の進路希望にあった学力を養成する努力をしていると思うか」の質問に A: (どちらかと言えば) そう思う70%以上 B: (どちらかと言えば) そう思う60%以上 C: (どちらかと言えば) そう思う60%以下 | |
| | | ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。 | 数値 | 年度末数値 | A: 国公立大学合格者数 15名以上 B: 10名以上 C: 10名未満 | |
| | | ○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。 | 数値 | 年度末数値 | A: 進学達成率85%以上 B: 進学達成率80%以上 C: 進学達成率80%未満 | |
| ②英語運用力の養成 | ○海外語学研修、ALTの活用などを通して異文化に対する興味・関心を高めさせる。 | 生徒 | アンケート | 「国際教養科は海外語学研修や各種講演会、ALTの活用などを通じて生徒の異文化に対する興味・関心を高める努力をしているか」の質問に A: (どちらかと言えば) そう思う70%以上 B: (どちらかと言えば) そう思う60%以上 C: (どちらかと言えば) そう思う60%以下 | | |
| | ○海外語学研修、ALTの活用などを通して異文化に対する興味・関心を高めさせる。 | 保護者 | アンケート | 「学校は異文化に対する興味・関心を高め、実践的な英語の力を養成する活動を行っていると思われるか」の質問に A: (どちらかと言えば) そう思う70%以上 B: (どちらかと言えば) そう思う60%以上 C: (どちらかと言えば) そう思う60%以下 | | |
| | ○有意義な海外語学研修実施のために、研修内容を充実させる。 | 生徒 | アンケート | 「語学研修は行ってよかったか」の質問に A: 概ねよく当てはまるが70%以上 B: 概ねよく当てはまるが60%以上 C: 概ねよく当てはまるが60%以下 | | |
| 国 語 | ③国際理解教育の充実 | ○漢字や古典文法などの基礎学力の定着を図るために、朝学習の活用や小テストの実施などを通して、反復学習を行う。 | 職員 | 年度末数値 | 実施回数 A: 年20回以上 B: 15～19回 C: 15回未満 | |
| | | ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。 | 職員 | 年度末数値 | 実施回数 A: 年10回以上 B: 5～9回 C: 5回未満 | |
| | | ○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。 | 職員 | 年度末数値 | 実施回数 A: 年7回以上 B: 3～6回 C: 3回未満 | |
| 地 産 公 民 | 基礎学力の向上 | ○漢字や古典文法などの基礎学力の定着を図るために、朝学習の活用や小テストの実施などを通して、反復学習を行う。 | 担当者 | 数値 | A: 十分活用し、工夫した。 B: まあまあ活用した。 C: あまり活用しなかった。 | |
| | | ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。 | 生徒 | アンケート | 資料集、授業プリントなどの補助教材は役に立ったか?の質問に4段階で3以上の生徒が、 A: 70%以上 B: 69～50% C: 50%未満 | |
| | | ○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。 | 担当者 | 数値 | A: 年間20回以上実施した。 B: 年間に10回以上実施した。 C: 実施しなかった。 | |
| 数 学 | 学力の向上 | ○漢字や古典文法などの基礎学力の定着を図るために、朝学習の活用や小テストの実施などを通して、反復学習を行う。 | 生徒 | アンケート | 朝学習や問題演習、小テストは役に立ったか?の質問に4段階で3以上の生徒が、 A: 70%以上 B: 69～50% C: 50%未満 | |
| | | ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。 | 担当者 | 数値 | A: 予定した以上に実施できた。 B: まあまあ実施できた。 C: 予定通り実施できなかった。 | |
| | | ○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。 | 生徒 | アンケート | A: 補習は大変役立った。 B: まあまあ役に立った。 C: あまり役に立たなかった。 | |
| 理 科 | 授業内容の充実 | ○漢字や古典文法などの基礎学力の定着を図るために、朝学習の活用や小テストの実施などを通して、反復学習を行う。 | 数値 | 年度末数値 | A: 22回以上実施した B: 22～24回実施した C: 21回以下であった | |
| | | ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。 | 数値 | 各回の数値 | A: 前年度を上回った B: 前年度と同様だった C: 前年度を下回った | |
| | | ○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。 | 数値 | シラバス | A: シラバスに準じて実施できた B: ほぼシラバスどおり実施できた C: シラバスどおり実施できなかった | |
| 保 健 体 育 | (体育) | ○漢字や古典文法などの基礎学力の定着を図るために、朝学習の活用や小テストの実施などを通して、反復学習を行う。 | 数値 | 年度末数値 | A: 10回以上、B: 7回～9回、C: 6回以下 | |
| | | ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。 | 数値 | 年度末数値 | A: 10回以上、B: 4回～9回、C: 3回以下 | |
| | | ○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。 | 生徒 | アンケート | 一年間の総括として A: 75%以上の向上 B: 50%以上の向上 C: 50%以下 | |
| 英 語 | 進路希望達成に必要な学力を養成する | ○漢字や古典文法などの基礎学力の定着を図るために、朝学習の活用や小テストの実施などを通して、反復学習を行う。 | 数値 | 調査 | 調査結果よりA、Bランク A: 60%以上 B: 55%～60% C: 50%以下 | |
| | | ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。 | 生徒 | アンケート | 一年間の総括として A: 概ね達成が75%以上の向上 B: 概ね達成が60%以上の向上 C: 概ね達成が60%未満 | |
| | | ○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。 | 生徒 | アンケート | 一年間の総括として A: 概ね達成が75%以上の向上 B: 概ね達成が60%以上の向上 C: 概ね達成が60%未満 | |
| 成 果 と 反 省 | 英語の運用能力を養成する | ○漢字や古典文法などの基礎学力の定着を図るために、朝学習の活用や小テストの実施などを通して、反復学習を行う。 | 職員 | アンケート | 実施結果が A: 概ね達成が75%以上の向上 B: 概ね達成が60%以上の向上 C: 概ね達成が60%未満 | |
| | | ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。 | 職員 | アンケート | 鑑賞の時間を授業に何パーセント取り入れたか?の質問に A: 15%以上 B: 15～10% C: 10%未満 | |
| | | ○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。 | 生徒 | アンケート | 制作、演奏をする喜び、達成感を感じられたか?の質問に、感じられたと回答する生徒 A: 90%以上 B: 90～80% C: 80%未満 | |
| 家 庭 科 | 基礎的・基本的な知識・技術の習得を目指す | ○漢字や古典文法などの基礎学力の定着を図るために、朝学習の活用や小テストの実施などを通して、反復学習を行う。 | 数値 | 年度末数値 | 年間実施の定期考査の平均点がA: 6.3点以上 B: 6.0～6.3点未満 C: 6.0点未満 | |
| | | ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。 | 数値 | 年度末数値 | 学年のことを将来生かそうと考えている生徒(とも考えている生徒) A: 55%以上 B: 45～55%未満 C: 45%未満 | |
| | | ○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。 | 数値 | シラバス | A: シラバスに準じて90%以上実施できた B: シラバスに準じて80%実施できた C: シラバスに準じて60%実施できた | |
| 最 終 総 合 評 価 | 指導内容の充実 | ○漢字や古典文法などの基礎学力の定着を図るために、朝学習の活用や小テストの実施などを通して、反復学習を行う。 | 数値 | 年度末数値 | A: 22回以上実施した B: 22～24回実施した C: 21回以下であった | |
| | | ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。 | 数値 | 各回の数値 | A: 前年度を上回った B: 前年度と同様だった C: 前年度を下回った | |
| | | ○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。 | 数値 | シラバス | A: シラバスに準じて90%以上実施できた B: シラバスに準じて80%実施できた C: シラバスに準じて60%実施できた | |